


分野	32	人権	<b>通番 60</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>人権教育・啓発推進事業</b>		会計	款	項	目	559,429	生涯学習課
			一般	10	1	3		
事業の概要								
全ての市民の基本的な人権が守られ個性と能力を發揮することができる社会を目指し、全市民を対象とし「人権啓発作品の募集」と「人権問題研究市民集会」の開催を行います。								


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	「人権問題研究市民集会」の参加者数及び人権啓発作品応募者の総数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	5,000	5,000	5,200	5,200	5,200
	4,941 (平成26年度)	実績	5,285	5,256	5,501	4,769	790(動画視聴数) +3,845(応募人数)
<ul style="list-style-type: none"> <li>人権啓発作品を募集し、3,845人から5,066件の応募があり、市内小中学生を中心として多くの市民の方の人権について考える機会となりました。</li> <li>例年2月に実施している人権問題研究市民集会は、緊急事態宣言を受けWEB上の動画での開催となりました。市長・教育長・人権協会長からのメッセージ、人権啓発作品受賞作品の紹介、教育委員会作成人権絵本動画の3点の動画を市民の方に広くみていただくことができました。</li> </ul>					人権問題研究市民集会動画の一場面 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>(人権啓発作品募集) 市内の小学校・中学校・高校、大学等に協力を依頼し、多くの応募がありました。</li> <li>(人権問題研究市民集会) 緊急事態宣言をうけて、WEB上での開催となりましたが、790名の方に動画を閲覧していただきました。コロナ禍で新しい形の啓発を行うことができました。</li> </ul>
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権問題研究市民集会については、他部署事業との連携も含めて、多くの市民に参加いただける実施方法を検討していく必要があります。</li> <li>人権啓発作品募集については、学校からの応募を通じて、人権意識の高揚をはかる他、一般部門についても広く周知していく必要があります。</li> <li>作品展示についても、より多くの方に見ていただけるよう周知、工夫していく必要があります。</li> </ul>		

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>市全体の人権啓発事業を通じて、多くの市民の方の人権について考える機会を持ってもらえるよう、長岡京市人権啓発推進協議会や学校、また市の部署間で協議、連携を進めながら、事業を実施します。</li> <li>人権啓発作品募集については、広報掲載やポスター掲示の他、ホームページやSNS等による周知を行います。</li> </ul>

分野	32	人権	<b>通番 61</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>北開田会館運営事業</b>		会計	款	項	目	277,071	北開田会館
			一般	3	1	6		
事業の概要								
人権問題解決に向け関係行政機関及び隣保館連絡協議会等と連携するとともに、住民の総合的な生活相談に応じ、自立支援のための適切な指導・助言を行います。								


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	北開田会館における人権啓発事業の利用人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3,208 (平成26年度)	目標	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700
		実績	3,268	3,984	4,104	4,532	1,915
<ul style="list-style-type: none"> <li>・習字教室(28回)、男の料理教室(1回)、ウォーキング教室(7回)、ヨガ教室(11回)、陶芸教室(3回)、手づくり教室(3回)、京文化教室(4回)、ゲートボール教室(1回)、クロリティ教室(1回)、囲碁将棋教室(56回)を実施しました。</li> <li>・高齢者の健康維持を目的としたデイサービス事業を7回(健康体操と給食サービスを5回、交通安全講習と給食サービスを1回、寄植教室を1回)実施しました。</li> <li>・人権教育指導員による各種人権研修を開催しました。</li> </ul>					習字教室		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—		—	—
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等により、文化教養教室等の一部を開催中止したため、全体の利用人数が減少しました。</li> <li>・相談件数は、前年(15件)から大幅に増え64件ありました。新型コロナウイルス感染症による不安や、それに伴う就労相談など、様々な生活相談に応じ、関係課と連携しながら、助言・指導を行いました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化教養教室のそれぞれの教室参加者は微増になりましたが、高齢化、固定化の傾向があり、新たな参加者を増やす手段への検討・実施が課題です。</li> <li>・北開田会館の施設利用や文化教養教室の開催は、社会情勢を鑑みて、常に柔軟な対応ができる体制で進める必要があります。</li> </ul>				

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化教養教室について、広いニーズ調査に基づいた改善を積極的に行い、新たな参加者を発掘する働きかけを行います。</li> <li>・リスク回避の情報収集に努めるとともに、その時期に最適な安全管理体制のもとで取り組めます。</li> </ul>

分野	32	人権	<b>通番 62</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>平和施策推進事業</b>		会計	款	項	目	45,834	人権推進課
			一般	2	1	16		
事業の概要								
戦後70年以上が経過し、戦争体験が風化しつつある中で、地域の戦争体験(神足空襲)や戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さやいのちの大切さを考える機会を提供することが必要です。そのため、行政として中立的な立場から「平和を考える市民フォーラム」を中心とするイベントを行うとともに、インターネットを利用して戦争・平和に関する資料を掲載し啓発する「平和博物館(仮)」を開設・運用することにより平和施策を推進します。								


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	平和へのメッセージの参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	240	260	280	300	320
	216(平成26年度)	実績	221	310	221	310	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争の悲惨さと平和の大切さを市民に伝えるため、7月11日に「平和を考える市民フォーラム'20」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止し、平和祈念碑、戦没者追悼の碑への献花式のみ実施しました。</li> <li>1月16日に静岡大学名誉教授の小和田哲男氏による「歴史平和講演会」を開催予定でしたが、緊急事態宣言発出により開催を中止し、講演会で話される予定であった内容を動画にして、YouTubeで配信しました。</li> <li>平和を祈る折り鶴、平和メッセージの募集、小学校の平和授業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。</li> <li>「長岡京市バーチャル平和祈念館」について、平和コラムの執筆や、戦争と平和に関する施設へのリンク集の充実など、内容の更新作業を行いました。</li> </ul>					平和祈念碑への献花		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—	—	—	—
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、平和フォーラムの開催および平和メッセージ等の募集を中止し、従来通りの市民参加をいただくことはできませんでした。講演会の内容についてオンラインによる動画配信を行った結果、約9万回以上(令和3年3月末現在)の閲覧数があり、また、バーチャル平和祈念館の内容の更新を通じて、多くの方に平和の大切さを伝えることができました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和啓発イベントについて、若い世代に関心をもってもらえるよう、またコロナ禍に対応して平和を考える機会をつくれるよう、企画、内容等に改善が必要です。</li> <li>バーチャル平和祈念館について、若年層に利活用してもらえるような工夫が必要です。</li> </ul>				

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度は、感染症対策のため、従来の集会形式の開催は避け、講演会等の動画配信および平和啓発展示をメインとした平和啓発イベントを企画します。</li> <li>時間や場所を選ばず、戦争や平和について考えたり学ぶ機会をつくれるよう、バーチャル平和祈念館の内容の充実とPRを行います。</li> <li>小学生を対象に平和学習を実施し、学習成果をバーチャル平和祈念館に掲載します。</li> </ul>

分野	32	人権	<b>通番 63</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>障がい理解・合理的配慮提供促進事業</b>		会計	款	項	目	101,244	障がい福祉課
			一般	3	1	10		
事業の概要								
障がい者差別の解消や理解促進を図るため、障がい特性の理解と合理的配慮の事例を学ぶ機会の創出や、主体的に行動できるサポーターづくりに取り組みます。								

令和2年度の取組								
D (取組)	指標(H30年度～)	障がい特性理解のための研修を受け、「あいサポーター」となった市民・事業者の数				単位	人、団体	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
	平成30年度 新規事業	目標	/			300	600	1,000
		実績	/			270	719	918
<ul style="list-style-type: none"> <li>「誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例」の趣旨に基づき、平成30年5月に鳥取県と「あいサポート運動の連携推進に関する協定」を締結したことを受けて、障がいについて理解を深め、障がいのある方に対しての手助けや配慮等を実践するあいサポーターの養成を通じて、誰もが暮らしやすい社会を目指すあいサポート運動を推進しています。</li> <li>ホームページや広報紙に合理的配慮の取組みやあいサポート運動の概要、ほっとはあと製品の紹介等を掲載し、啓発を行いました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で対面での研修が困難な状況においても研修受講できるよう、オンライン上で研修受講ができる仕組みを整え、市ホームページ、広報紙で周知しました。</li> </ul>					あいサポート研修			
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度) 達成状況	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいを理由とする不利益取り扱いの解消や合理的配慮の提供を促進するため、継続して周知啓発していく必要があります。</li> <li>誰もが暮らしやすい長岡京市を実現するために、障がいのある方に対し配慮できるあいサポーターのさらなる養成が必要です。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で対面研修が困難な中、オンライン研修のさらなる周知が必要です。</li> </ul>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市民・事業者・団体等へ積極的に周知啓発を行い、障がい理解の向上に努めます。</li> <li>あいサポーター養成の拡大に向けて、あいサポーター研修の情報発信に取り組み、研修参加者を増やすとともに、参加者のニーズに合わせた研修内容を企画します。</li> <li>オンライン研修での受講を促進するため、企業、団体等への周知を行います。</li> </ul>